

富士山登山鉄道構想検討会 第2回総会 議事概要

【開催要領】

1. 日時 令和3年2月8日(月) 16:00~16:50

2. 場所 参議院議員会館「講堂」及びWEB会議

3. 出席者(敬称略)

| | | | |
|----|---------------------|--|------|
| 顧問 | 日枝 久 | フジサンケイグループ 代表 | WEB |
| 理事 | 岩村 敬 | (一財)環境優良車普及機構 会長 | (議長) |
| 理事 | 太田 孝昭 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議 監事 | WEB |
| 理事 | 小田 全宏 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議運営委員長 | |
| 理事 | 坂井 究 | 東日本旅客鉄道(株) 常務取締役 | |
| 理事 | 島田 晴雄 | 東京都立大学 理事長 | WEB |
| 理事 | 清水 喜彦 | SMB C日興証券(株) 取締役会長(代表取締役) | |
| 理事 | 平林 良仁 | 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議 評議員 | |
| 理事 | 藤井 敏嗣 | 山梨県富士山科学研究所 所長 | WEB |
| 理事 | 松浦晃一郎 | 第8代ユネスコ事務局長、元駐仏大使 | WEB |
| 理事 | 山崎 養世 | EHL(エコール・オリエール・ド・ローザンヌ) ナレッジパートナー日本代表 | WEB |
| 委員 | 浅野 正一 | (一社)山梨県建設業協会 会長 | WEB |
| 委員 | 有野 一馬 | (一社)全国旅行業協会 専務理事 | WEB |
| 委員 | 粟井 英朗 | 富士山の銘水(株) 代表取締役社長 | WEB |
| 委員 | 金子 慎 (代理:巢山芳樹) | 東海旅客鉄道(株) 代表取締役社長 (代表取締役副社長) | |
| 委員 | 紅村 康 (代理:加藤慎司) | 京王電鉄(株) 代表取締役社長 (鉄道事業本部 計画管理部長) | WEB |
| 委員 | 志村 和也 | 富士観光開発(株) 代表取締役社長 | WEB |
| 委員 | 志村 格 | (一社)日本旅行業協会 理事長 | WEB |
| 委員 | 星野 晃司 (代理:佐藤充彦) | 小田急電鉄(株) 代表取締役社長 (交通企画部課長) | WEB |
| 委員 | 堀内 光一郎 (代理:上野裕吉) | 富士吉田商工会議所 会頭、(一社)富士五湖観光連盟 会長、富士急行(株) 代表取締役社長 (富士五湖観光連盟 専務理事) | WEB |
| 委員 | 宮池 克人 (代理:湯川保之) | 中日本高速道路(株) 代表取締役社長 (八王子支社長) | WEB |

【次第】

1. 開 会

2. 会長挨拶 御手洗 富士夫 日本経済団体連合会名誉会長(代読)

3. 知事挨拶 長崎 幸太郎 山梨県知事

4. 議 事

(1) 富士山登山鉄道構想(案)について

5. 閉 会

【主な発言】

全体構成について

- ・まだまだ検討すべき点があるが、よくまとまっている。
- ・今回の構想案では、これまで指摘してきた点がしっかり反映されている。
- ・この計画では、観光の面、環境保護の面、経済的な面の3点の切り口があり、それぞれ継続的に成り立つかが重要だが、これらの話がうまくまとまってきたと感じる。

地元との対話や五合目等の課題への対応について

- ・構想案には地元対策が出ていないが、別に考えるのか。
- ・五合目やその上の課題についてあまり触れられていない印象。鉄道と合わせ、五合目やその上について、もう少し記述したほうが良いのではないか。
- ・世界文化遺産学術委員会でも、五合目の問題を抜きにはできないという意見がある。以前作成されたグランドデザインなどを踏まえ、世界文化遺産にふさわしい富士山を目指すなど、今後きちんと検討していく必要がある。(⇒ これまでは登山鉄道という言葉だけで、具体案がなかった。この構想を基に、地元と正式に相談していく。五合目やその上の関係者の皆様や麓の皆様に対して、地域の高付加価値化の方策や鉄道のあり方などについてしっかり話をしていく。)

今後の検討の進め方について

- ・引き続きこの検討会で全ての事項を議論しても煮詰まらない。鉄道事業の問題、事業運営の問題、法律の問題、地元対策の問題などに分けて検討する必要があるのではないか。
- ・今後検討すべき課題について、先般の理事会資料に比べるとかなり具体的に記載してある。すべて網羅されているわけではないとも思うが、これをベースに、今後幅広く意見を聞いていければ良い。
- ・今後、静岡県とも十分連携して取り組むべき。(⇒ 今後、実務的な検討体制はしっかり整理し、かつ各委員の皆様にも引き続きご助力をいただきながら進めていきたい。また、国においても、登山鉄道構想を受けて検討体制を作り上げようという話も承っている。山梨県において論点整理し、それぞれにご相談をさせていただきながら作り上げていきたい。)

作業スケジュールについて

- ・P48「今後の進め方」が非常に複雑になっているが、構想を具体化するに当たり、どのようなタイミングや目途を考えているか。
(⇒ まずは、地元の皆様などとしっかり議論を重ねた上で、それぞれの作業スケジュール等を整理して参る。)

鉄道を含めた地域課題への対応について

- ・富士五湖を中心に、イギリスの湖水地方のようになると良い。そのためには、登山鉄道プロジェクトだけではなく、山麓の景色やホテル・レストランなどについて、自然を破壊せず経済発展に繋がるようなプロジェクトを付随的に検討すべき。
(⇒ 富士五湖を含めた富士山周辺における地域のあり方をしっかり議論していきたい。鉄道を契機に、富士山の麓から上までどのような観光のあり方を目指すべきか、引き続きご意見とお知恵をいただきながら検討したい。)

* 「富士山登山鉄道構想」(案) について、原案どおり決定。

以上